



港工同窓会

ニュース

第 18 号 令和元年 5 月 20 日 発行 発行責任者 前田武男

『母校との絆(きずな)』

港工同窓会会長
港全3期電力科 前田 武男

平成元年同窓会再建の折、二代目会長を拝命した。当時私は50代後半現役バリバリ、勤務先(以後会社)では関西方面に進出する計画があり、大阪を拠点にするため赤字会社を買収、その立て直しに単身赴任中という大変な時期でもあった。このような時期、なぜ私が母校と深く掛り合うようになったかを少し説明したいと思う。

皆さんも経験済みと思いますが、学校を卒業すると進学(大学等)・就職・結婚・子育て等々生活に追われ母校のことなど考える余裕がない。私なども会社が近くにありませんが、時は行こうと思ったことが無かったところがある。突然、次男から「高校進学は港に決めたからね」と。私は次男も大学までと考えていたので大反対。しかし「親父の卒業した学校に入学して何が悪い」の一言で一件落着、入学式に同伴することになる。

当日、昔ながらの正門をくぐると当時のままの校舎、狭い校庭・プール・そして石造りの廊下・階段など、つぎつぎと懐かしい思い出が浮かんでくる。(一)挨拶に電気科の職員室に

伺うと加藤先生が在室されており、「お前田か」「あつ加藤。私は3期、息子は36期、33年ぶりの再会となった。

加藤先生は「君(息子)にしてやる最初で最後のことだぞ」言っ、お茶を入れてくれた。

当時の港工は高橋先生をはじめとする同校卒業の先生方が大勢、又私達が教えを受けた先生方が今も教鞭をとられていると聞き「えっ」と驚きと懐かしさ。たとえば英語の六平巧宜先生、担任であった林美代先生、体育の藤田泰彦先生など、特に

林先生とは年賀状のやり取りをしていたので、母親に女性からの年賀状と勘違いされ、その釈明に苦慮した。さて、在室の先生方を紹介していただき、入学式に。式終了後はPTAの会合、そこで副会長(後に会長)を引受けることになる。しかしPT

A活動は初めてのことで、会社が近いこともあり「ひま」があれば、学校に通い、校長・教頭その他の先生方に教えていただいた。特に教頭の延時先生の「きもいり」でPTA・OBを主体とした新制後援会が発足する。私も息子が卒業後は後援会副会長として少しでも母校のお役に立ちたいと努力してきた。又、校長先生方にもお世話になり、特に第10代校長村上五男先生(S60〜62)には逢うたびに同窓会再建を強く要望された。

同窓会再建後は第12代校長関透校長(H3〜6)、第13代村上尚校長(H7〜10)、第14代泉勲校長(H11〜13)、閉校時の第15代小山実校長(H14〜15)、教頭では本波哲郎先生(S51〜56)、同延時弘先生(S57〜62)、同木村武敏先生(H1〜4)、同野上明夫先生(H8〜9)、同相川英昭先生(H10〜14)、同、

◇令和元年度 定期総会

記

日時 令和元年6月15日(土) 13時より(受付12時30分)

場所 総会 TKPガーデンシティ品川にて13時より(JR「品川」駅前徒歩1分)

内容 平成30年度事業・決算報告、新役員承認

場所 懇親会 令和元年度事業計画・予算案の承認その他

会費 TKPガーデンシティ品川にて15時より(JR「品川」駅前徒歩1分)

会費 5,000円(総会のみの方及び参加者付添いの方は無料です)

※懇親会参加の方は同封の郵便払込用紙の金額を懇親会費共7,000円に訂正の上郵便局にて事前払込をお願いします。(郵便局ATM機なら土、日、夜間もok)

閉校時桑原洋先生(H15)等々。

この先生方の多くは同窓会の定期総会や懇親会に出席いただいている。その他にも大勢の先生方と「飲みにケーション」を楽しんだ。私が港工卒業ということもあったのか、気軽にお付き合いいただいたことに大変感謝している。

定期総会や懇親会に出席された他校に転勤された先生方から「港は良かった。楽しかった。今の学校はつまらない」との声をよく聞いた。話は変わるが私には忘れられない先生がいっぱいある！

高輪・麻布・渋谷の三都立工業学校は高輪工業学校に統合され、一つの都立高輪工業学校となった。

昭和21年3月、過去において三工業学校の何れにも関係のなかった都立理工専門学校教授の早坂朝太郎先生が港工業の母体である都立高輪工業学校校長に任命されたのである。

ここに港工高20周年記念誌がある。その中の早坂先生投稿「港工高の誕生」から一部を抜粋させていただく。

「麻布・渋谷の二校は戦災を受けて校舎も設備もなにも一つなく、あるものはただ職員と生徒のみであった。三校から集まってきた生徒は千二百余名、教職員・事務職員・用務員まで、生徒の割合に多過ぎて相当数の方々を失業させることなく他に就職をお世話するためには随分苦労した。

当時の物の欠乏はひどいものであったが、私が最も苦心努力したことは、伝統や習慣を異にする三校から集まってきた先生方の魂(たましい)：身体に宿って心の働きをつかさどるもの)を結集して、思いもよらぬ敗戦によって虚脱状態になつていている精神に祖国愛・民族愛の活を入れ、三校を発展的解消して、一つの学校を造つてゆく困難な仕事に精進させることであつた。

私は先生方への校長就任の挨拶の中で『諸君は今までの同僚と共に集まってきたのであるが、私はただ一人であつたので、何等かの関係のあつた人は一人もいないし、また、今後この学校に迎えるつもりもない。私は教頭も事務長必ず諸君の中から決める。諸君はここで過去の関係を解消して校長を中心として団結し、祖国再建の苦業に精進しようではないか』と呼びかけたのである。

幸いに職員のほとんど全部が私の呼びかけに誠意をもつて応えて、よく努力してくれた」

私はこの激動の時代を早坂初代校長と共有している。

その尊敬する先生の一人である早坂先生がご健在と聞き、加藤先生と表敬訪問することとした。

当日、お宅にお伺いすると、モーニングで正装された先生が玄関でお迎え、客間まで案内してくださつ

た。細かいことまでは思い出せないが激動の時代を、ともに過ごした先生と生徒、当時の話で時間を忘れ大いに盛り上がったことを覚えていて、先生は惚(ぼ)けることもなく目鏡の奥の目を輝かせ嬉しそうだった。あとで奥さまに聞いたところ「朝から立ったり、座ったり、そわそわと落ちつきがなかったが、目と立ち振舞には覇気(はき)があり、近年にはなかった」とのことでした。

先生のお見送りをいただき帰路についたが、二人ともちよつとした親孝行したような清清(すがすが)しい気分であつた。

もしかして、先生は我々が同窓会や同期会で逢つたとき、一瞬にして「おれ」「おまえ」の高校生に戻つてしまう「タイムスリップ現象」にあつたかも知れない！

さて私は常々人生の半分以上を港工と関わってきたと申し上げてきた。しかしそれ以上の先生が居た。

盟友 加藤先生である！

閉校記念誌(職員在職期間)によると着任は昭和26年4月1日とある。その年は我々3期生が卒業した年である。

そういえば在学中から学校の仕事を手伝っていたような気もするが真偽のほどはわからない。しかし、長期にわたる港工に関わってきたことは確か、同窓会活動を含めると何と

66年間、加藤先生の人生そのものはなかったか。

私の尊敬する先生の一人でもある。ちなみに高橋先生30年(S33)・63)・六平先生27年(S22)・49)・藤田先生35年(S25)・60)等々となつてゐる。

そのような先生方や仲間達も次々と去り、もう私の周りには誰もいない。私も今年87才、来年は米寿を迎える。私と母校の絆(きずな)については、振り返つてみると「同窓会ニュース」に度々投稿しているので！(最近では第15号・16号・17号等)

最近読んだ小説に藤沢周平氏の「三屋清左衛門残日録(日記)」がある。

テレビでも放映されているのでご存知の方もいると思うが「北国の小藩で長く用人を勤めた清左衛門が隠居した後、藩にまつわる数々の事件を解決するとゆう物語」で、その残日録の一説が気に入っているで紹介したい。

「老(お)いること、すなわち又生きることなり。

いつの日か命はてるとき来たならば、ありがたき捧げて死をむかえる。されどいよいよ死ぬるその時まで、与(あた)えられし命いとおしみて一筋(すじ)に生き抜くべし！」

以上のような心境の今日、此の頃である。

六郷工科高等学校のデザイン工学科について

東京都立六郷工科高等学校 オートモビル工学科教諭

杉野 栄一(港工同窓会理事 港全 28期A卒)

母校の港工業高等学校が、平成16年3月6日に第56回卒業式を終えた後、本校は開校し、3月に第13回の卒業式を終えました。

本校は、プロダクト工学科(機械系)、オートモビル工学科(自動車系)、システム工学科(電気・情報系)、デザイン工学科(デザイン系)、デュアルシステム科の5つの科があります。今回は、母校になかったデザイン工学科について説明します。

デザインは生活のあらゆる分野に関連し、生活を楽しく豊かにすると言われています。本校では、1つのクラスを2つのコースに分け、それぞれ専門性を高めています。デザイン工学科では、ビジュアルデザインとプロダクトデザインに分かれて、3年間でそれぞれの分野で確実に力がつくように学習をします。デザイン技術を身に付けさせています。ビジュアルデザインでは、ポスターやパンフレットの作成を基礎から学びます。また、写真や映像、アニメーション、Webデザインについても学び、将来は、グラフィック関連の就職・進

学を目指しています。プロダクトデザインは、工業製品のためのデザインを基礎から学びます。また、ガラスや金属、ジュエリー、陶芸のデザインなどについても学び、将来は、工業デザイン関連の進学・就職を目指しています。

主な資格取得としては、カラーコピーダイネータ検定、グラフィックデザイン検定、画像処理検定などの資格取得が可能です。

実習で使用している主な装置について説明します。ひとつ目はカッティングプロッターです。カッティングプロッターは広告用のステッカーやポスターや看板の制作において防水性のポスターや看板やサインを作るのに使われていて、接着剤のついた色付きのビニールに剥せる紙を裏に張り合わせたものを使い、そのビニールを望みの形状や文字などを切り抜いて貼り付けて使用します。一例として、自動車の車体や窓に社名などを表示するのにも使われていますが、授業では、文化祭などの展示用に使っているそうです。本校で

は、Macのパソコンのイラストレータなどのソフトを使い、文字やステッカーなどを作成し、カッティングプロッターにデータを送るとデザインされた作品ができるそうです。二つ目は、パソコンです。写真の編集や動画の編集などデザイン業界で多く使われているMacを授業で使用しています。本体の形からしてデザイン科と思わせるような形状をしています。

最後に地域コラボレーションとして、大田区総合体育館をホームコートとするプロバスケットボールBリーグ「アースフレンズ東京Z」チームよりファンクラブ会員証のデザインの依頼をいただき、プラチナ会員やゴールド会員などの5つのグレード別にデザインをして、5名のデザインが採用されました。図柄などの詳細は、「アースフレンズ東京Z」のホームページをご参照下さい。



◇令和元年度定期総会懇親会

本年は六郷工科高校の行事日程都合により、例年の六郷での総会開催が出来ないので、総会も懇親会会場の品川にて行いますので、お間違いの無いようご注意ください。

場所 T K P ガーデンシティ品川
ダリヤの間

時間

6月15日(土)

総会 13時より

懇親会 15時より

※同会場につき、例年の会場移動は無いので、懇親会のスタート時間を1時間早くします。

※懇親会の会場を一昨年から交通便利な品川駅前に変更し、好評でした。同級生やクラブの先輩、後輩等お誘い合わせの上、ご参加されますようご案内申し上げます。

恩師出席予定

山田 信幸 (電気) 全
広橋 恭二郎 (電気) 定
西原 要四郎 (教務) 定
豊山 州生 (自動車) 全
両角 亮一 (数学) 全
甲斐 徳隆 (英語) 全
山本 誠 (電子) 全

令和元年4月20日現在 (敬称略)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

恩師訃報

豊島 壮治 (電気) 全
川上 昇 (電子) 定
草間 茂也 (事務) 全
野崎 孝太郎 (用務) 全
ご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

◎令和元年度・秋の六郷祭は

11月9日(土)10日(日)予定です。

但し、公開時間等は未定につき
会報・秋の臨時号に掲載します。

○校内自動車工場には懐かしのA型
フォードが保存されています。

設備の多くに港工高の昔の機器が
活用されている校内を見学できま
す。

○港工同窓会の部屋を用意します。

見学後の休憩・歓談にお立ち寄り
下さい。
住所変更や会員消息のお届け、お
問合せ、また賛助金の納入も受け
付けます。

※展示資料

- ・各期毎の卒業アルバム
- ・港工1期〜56期卒業生名簿
- ・高輪工業、麻布工業卒業生名簿
- ・港工創立20周年記念誌
- ・同 50周年記念誌
- ・港工閉校記念誌
- ・「港工高新聞」縮刷版他
- ・港工高関連のビデオ映写

第9回・同窓会旅行

今秋令和元年度の旅行は

熱海・ニューフジヤホテル
を予定しました。

(東海道線・熱海駅から送迎バス)

令和元年・同窓会旅行

場所：熱海温泉
「ニューフジヤホテル」
日時：10月20日(日)~21(月)
費用：¥10,000(交通費別)
詳細資料請求の方は下記へ
(参加の有無に関係なくお送りします)
連絡先：旅行幹事・事務局 松岡 まで
080-1278-1584

◎皆様のご参加をお待ちします。

返信ハガキからの近況・想い出(特別会員31年度)

旧(第13代校長) 村上尚
か細い体で八十路になりました。

旧(第15代校長) 小山実

毎日、一万歩(歩く)を目標に、健康第一の生活を過ごしております。

旧(教頭)全 本波 哲郎

ご案内をいただき有難うございます。おかげ様で健康で暮らしています。

90歳(卒寿)を超え、高齢化による、物忘れがひどくなりました。

同窓会総会のご盛会と御参会の各位のご健勝をお祈り申し上げます。

旧(教頭)定 三谷 和夫

90歳となりました。一応元気です。耳片方ダメ。毎日原稿書きとおしゃべりで多忙です。毎日朝30分、夕40分(速歩歩いています)。

「戦時中の軍国主義教育」などの本を4月刊行予定です。

旧(教頭)定 石井 良治

ご盛会を期待いたします。

旧(教頭)全 木村 武敏

おかげ様で元気です。ますますのご盛会をご祈念いたします。

旧(教頭)定 市川 勝緒

いつも御連絡ありがとうございます。ご盛会をお祈りします。

旧(教頭)全 相川 英昭

一日一日を無為に過ごさないように気をつけ、少しの成果も喜びとしています。これから私は心身が衰えてくるので現状維持を目指して生活しています。

旧(電気)全 山田 信幸

令和の時代を迎えるにあたり、昭和29年放送業界に身を転じ、平成天皇(皇太子・美智子妃)の御成婚祝賀、パレードの中継を担当したことが懐かしく思い出されます。現況はOB会のコーラス部に入り歌っています。卒寿となりますが元気です。

旧(自動車)全 中井 泰也

歩行中のめまいがあり、出席を失礼します。

旧(電子)全 貝瀬 栄輔

幹事本当にご苦勞様です。身体的なこともあり、欠席させて頂きます。

旧(電気)全 豊島 壮治

桜の花の満開も間近となってまいりました。主人(豊島壯治)は長い闘病生活の末、昨年三月、永眠致しました。生存中港工業高校の在職中の話を聞いておりましたが主人の人生に思い出のページとなったことと思っております。同窓会の皆様にはいろいろとお世話になったと思います。ありがとうございました。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

旧(電気)全 小又 良一

病身ながら90才になりました。それでも夢はあります。まず発見したいのは、港工の交友の歌のテープです。どこかにしまい込んでいるのです。発見したら係りの方へお送りします。

旧(電気)定 阿部 永雄

加齢により歩行困難になりました。今後とも出席出来ませんので連絡は辞退いたしますのでよろしくお願い致します。

旧(体育)全 小笠原 将幸

今回は私の母校(高校)同窓会東京支部会に、札幌から高齢の恩師が上京して来ますので、幹事長の立場上そちらの方に出席しなければなりませんので、欠席させていただきます。

来年は出席させていただくつもりですが、私は昭和39年東京五輪体操競技役員であったため、役員OBとしての国際交流行事が予定されており、今のところ不確定です。ご出席になられた皆様のご健康とご多幸をお祈り致しますとよろしくお伝え下さい。

旧(電子)全定 大谷 忠雄

一人暮らしも8年が過ぎ、もうすぐ85才になります。「日本尊厳死協会」に入り、「生前整理」を始め、「介護ゼロ日」をめざし、ボツクリ逝く努力をしています。

旧(給食)定 佐藤 清子

いつもご案内をいただき有難うございます。私も空気がかわいた日は呼吸が苦しくなり、雨の日がつづくとうるさくなり、早くあたたかくなりたいと思っております。

旧(自動車)全 豊山 州生

よろしく申し上げます。

◎総会懇親会に出席予定

◎総会懇親会に出席予定

◎総会懇親会に出席予定

◎総会懇親会に出席予定

◎総会懇親会に出席予定

◎総会懇親会に出席予定

◎総会懇親会に出席予定

◎総会懇親会に出席予定

旧(電子)定 伊藤 雅章

久しぶりに風邪を引きました。4日経っても良くならずかかりつけ医院で「数撃ちや当る」とばかり沢山薬をもらおうそれでも良くならず、10日経過。免疫力低下は如何し難い

旧(数学)全 両角 亮一

もう一年が立つのですね(チコちゃんによると1年が早く感ずるのは「ときめき」がなくなるからとのことです)年々思うように体が動かなくなりです。出来るだけ外出する様心掛けています。お会いし、お話をし、活力を受けたと思います。

◎総会懇親会に出席予定

旧(社会)定 藤崎 ミヤ子

身体は衰えてまいりましたが、家族のためにやらねばならない仕事が一月中切れ目なくあるので元気に過ごしております。半世紀前に働いていた職場、何もかもすっかり変わってしまいました。今はもう機械を使いこなせなければどうしようもない時代。こうして葉書を書くこともやがてなくなる日が来るかもとさびしい気持ちになります。皆様お元気で。

(旧姓 村越)

旧(機械)定 福富 千明

校舎の角地(実習場)は高層ビルにと、隔世の感。古希の春。

旧(英語)定 福井 祥

昨年は、定時制卒業生が帰郷してがんばっている、小豆島や長野上田等で再会し、楽しい時をすごしました。参加できません。ご盛会を祈ります。

旧(電気)全定 砂川 海廣

港工には生徒としても教員としても永い間お世話になりました。今は体力は弱りましたが、アンサンブルでフルートやピッコロを吹くのが楽しみです。

旧(電子)全 菅原 彪

ご案内いただき有り難うございました。体調が悪く、欠席させていただきます。

旧(英語)全 甲斐 徳隆

昨年、古希の記念として「本四国八十八カ所歩き遍路」に行つて来ました。地図を見ながら一人で歩いたので大変でした。でも46日で結願しましたよ！きつけれど、自分の足で歩いて気分は最高でした。やったー！

◎総会懇親会に出席予定

旧(自助)全 井上 廣美

体調すぐれず毎日を送っております。今後は、定期総会のご案内を勝手ながら遠慮したいと思ひます。その旨どうぞよろしく願ひします。

旧(事務) 森 美彦

在職中に都立大に通い卒業後、児童館・学童保育クラブ指導員となり、その後目黒区議会議員を7期勤め、今春をもちまして、退任することになりました。なつかしき日々をありがとございました。

旧(英語)全 馬場 幸雄

今年も週2日の講師生活です。6月の時期は中国旅行へ行く予定の為参加できず申し訳ありません。

旧(教助)全 樋口 重子

高齢となり、歩行もままならず、欠席致します。来年度からの御案内は御遠慮致します。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

旧(体育)全 小川 幸吉

甲子園101回大会キャッチフレーズ「新たな歴史が今、はじまる」です。皆様の健康をお祈り申し上げます。

旧(英語)全 佐藤 芳教

東京都教職員研修センター勤務、都立高校生の留学のお手伝いをしております。

旧(事務) 湯田 省三

ご案内ありがとうございます。当日は先約がありまして、欠席させていただきます。

旧(国語)全 吉川 英雄

土曜日は講習、広報活動等のため、残念ながら出席できません。現在、南葛飾高校で学校経営のお手伝いをしております。まだまだ元気です。

旧(数学)全 栗原 幸一

都立高校を退職後3年が過ぎました。非常勤教員としても3年が過ぎ、年月の過ぎる速さを実感しています。港工同窓会がいつまでも続きますように・・・。

旧(数学)全 田神 仁

3年前に都立広尾高等学校長を定年退職し、現在は法政大学、武蔵野大学、洗足学園音楽大学で教職課程の非常勤講師をしています。このたびは定期総会の実施、おめでとうございます。生憎、日程の都合で出席できません。皆様によりよくお伝えくださいます。

旧(英語)全 久保田 省吾

今回は、総会懇親会両方とも欠席とさせていただきますのでよろしくお願ひ申し上げます。

旧(家庭)全 檜垣 栄恵

幹事のみなさま、お世話になりありがとうございます。毎年出席できず申し訳ございません。

旧(国語)全 矢部 玲子
お知らせ有難うございました。ご盛
会を祈りあげます。

六郷工科高校の皆様、当方の勤務先、
「北海道文教大学」へのご進学、お
待ちしております。当方の所属は外
国語学部国際言語学科です。他にも
看護、理学、作業療法、健康栄養、子
供発達の学科がございます。

旧(英語)全 上田 みつ子
再任用で教壇に立つ日々です。港工
で、教育研究生として一年間も勉強
する機会を与えていただきましたこ
とが、教員として働き続けてこれら
れました原動力になっています。有難
いことでした。

旧(電子)全 山本 誠
今年3月で定年となりました。港工
時代の思い出は、初任校であったこ
ともあり、懐かしさでいっぱいです。

◎総会懇親会に出席予定

旧(事務) 国分 賢司
遠方のため欠席致します。あしから
ず。

旧(電子)全 武藤 隆
毎回の連絡ありがとうございます。
申訳ありませんが欠席とさせていた
だきます。

旧(事務) 直井 功子

いつもご連絡ありがとうございます。
現在、西新橋に勤務しています。愛
宕、虎ノ門近辺は20年前には考えら
れないほどに再開発され、高層ビル
が建設され、オリンピックに向けて
まだまだ進化しています。

旧(英語)全 十亀 有紀
先日、港工業電気科の同窓会を有志
で行いました。私の担任した生徒た
ちは立派な社会人として皆、活躍し
ておりました。もと担任としてはう
れしい限りです。

旧(事務) 森谷 顕
今は中学校(大田区)で事務をして
います。昨年度の入試ではうちから
も受験して何名かは4月から六郷工
科高にお世話になることになったみ
たいです。ただ、港工業が閉校して
何年もたっているの、ご一緒した
先生方は六郷工科にはいらっしや
なくて、少しさびしく思います。

旧(自動車)全 大塚 健一
4月から本庁高等学校教育課内で東
京都産業教育振興会事務局次長とし
て勤務しております。工業科を含め
て農業、商業などの産業教育振興業
務に努めています。当日は都合で参
加できませんが、盛会になりますよ
う祈っております。

旧(保体)全 横塚 聖史
いつもご連絡ありがとうございます。

旧(事務) 瀬戸山喜陽子
ご盛会をお祈りします。

後援会 長谷川 初江
申し訳ありません、欠席させていた
だきます。

後援会庶務 齋藤 芳江
二年前に卒業息子が天国に行つてし
まいました。45才でした。

後援会会計 小林 茂美
残念ながら法用があり、参加出来ま
せん。

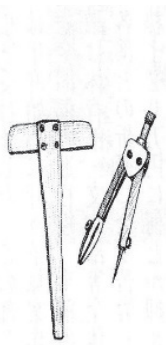
後援会 佐藤 ハツエ
毎年の通信、ありがとうございます
た。息子は昭和63年に卒業致しまし
た。当時PTA役員になり、先生方
の交流から、卒業後も母親同志つ
二年前迄春のお茶飲み、秋は旅行と、

63年なので、むつみ会と称して仲睦
まじく楽しんできました。これも港
工の深い絆で続いてきました。年号
も令和となりました。どうぞ同窓会
名簿から退出として下さい。
会長の前田さんにもよろしく。
ますます、未永くの発展祈ります。

正会員計報 (敬称略)
前号発行後着分

- 港(全) 4期P 伊藤 孝太郎
- 港(全) 5期P 金指 力
- 港(全) 5期E 丹生 正和
- 港(全) 6期E 細谷 進治
- 港(全) 6期P 勝倉 和男
- 港(全) 7期P 栢本 貞信
- ※(遺族より)寄付を戴きました
- 港(全) 10期E2 野口 眞宏
- 港(全) 19期E 佐々木 満
- 港(全) 34期A 清水 覚
- 港(全) 47期E1 鈴木 謙祐
- 港(定) 3期C 佐久間芳三郎

●ご冥福をお祈り申し上げます



第15回六郷祭に参加して

港(全) 19期E1卒 加藤 誠

都立六郷工科高校の文化祭『第15回六郷祭』は、一般公開日が平成30年10月20日(土)に限定開催され、「ねぶた」が飾られた玄関ホールで受け取ったプログラムの『平成最後の六郷祭 —六郷、半端ないって—』のキヤッチコピーが印象的でした。



港工同窓会展示室では、当日朝から担当理事が協力して展示品等運び込んで準備をすませて安堵しつつ、休む暇もない慌ただしい中での諸先輩の手際良さに見惚れていました。

廊下を歩く人が港工同窓会展示室の前に来ると、入り口横に掲示された六郷工科高校と港工等の前身校との関係を描いたボードを見て驚かれる様子の人も見られました。そうですよネ・・・、「高輪」、「渋谷」、「麻布」、「港(区)」、「羽田」等、現代では知名度が高い地域名と明治、大正、昭和と続く歴史ある学校とのつながりが描かれていて、平成15年に開校し

た六郷工科高校の伝統的背景を知って驚かれたことと感じました。

展示室に来訪された方々への対応をする中で、今年も子供連れで来られる方や親が港工卒業で自身の子供が六郷工科高校生の父兄などが卒業アルバムから写真を見つけて喜ぶ姿、お菓子と飲み物で楽しく談笑する姿、会長や理事達と歓談して笑顔を浮かべる姿を見て楽しく、嬉しく思いました。また、終盤には同級生の熱田冬樹くんが来室されて談笑した後も後片付けを手助けしてくれるなど、同窓会の支援者が増えてきていることを実感し、六郷祭参加の意義を再認識しました。なお、来訪者数は記帳者が20名(昨年26名でOBが16名、その他4名ですが、記帳しない方も多数おりました。



六郷祭イベントは、前年と比較して遊びイベントが増えてハロウィン仮装の生徒や教室の装飾も派手さを増していました。また、イベント会場では黒幕を使ってトンネルの入口に装飾するなど入りにくい会場もありました。そんな中で、オートモビル工学科の展示場に入ると港工から引継がれた懐

かしいA型フォード車やHONDA エコマイレージチャレンジャーなどの展示とインターンシップのパネル展示があり、学生たちの積極的な活動に感心しました。

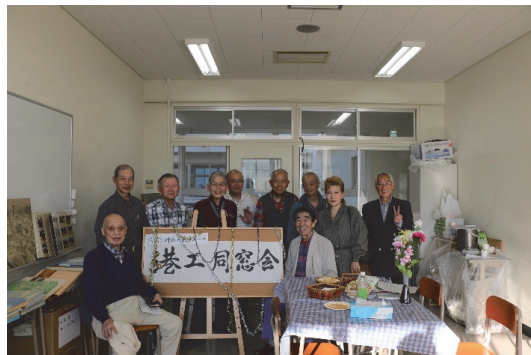
デュアルシステム科は生徒の長期就業訓練活動がポスター展示されており、今年もじっくり読ませてもらい、生徒の前向きな姿勢に感激しました。

デザイン工学科では、展示された多種類のデザイン作品を楽しく見学し、感銘を受けた作品や実社会での即戦力的デザイン活動に積極的に取り組む姿勢に感動しました。特に、プロバスケットボールリーグ「アースフレンズ東京Z」チームファンクラブ会員証デザインの依頼を受けて、プラチナ会員やゴールド会員等の5つのグレード別にデザインを制作し、5名のデザインが2018〜2019シーズン用として採用されたパネル写真を見て感銘を受けるなど、今年も六郷祭に参加できてよかったですと感じました。



ただし、六郷祭の一般公開が1日だけでは六郷工科高校との絆が細くな

るのではと寂しく思い、港工同窓会として継続参加して絆を太くしていくことを希望しますので、会員の皆様もぜひ見学に来てください。



なお、私は港工同窓会のホームページ更新を担当しており、多くの方々に関わいただき感謝を申し上げます。今後皆様からの投稿記事をホームページに掲載、公開いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

《参考》

港工同窓会ホームページアドレス

<http://www.minatoku.net>

インターネット検索キー

港工同窓会 愛宕の緑

平成30年同窓会旅行記

港(全) 18期A卒 相川 浩

午前中の用事を済ませJR川崎駅へ向かう、14時前の快速アクティに乗車、車内はかなり込んでいます。横浜でガラッと空いて座ることが出来る。約1時間30分で湯河原駅に到着。ここからホテルまでは徒歩で約30分だ。途中新幹線のガードをくぐった先に、樹齢800年以上と言われる(明神の楠)が鎮座している。



今晚の宿「ホテル四季彩」は同窓会として2度目の利用となる。到着すると既に前田会長をはじめ数名がロビーに。宿泊手続きがうまくいかないようでロビーでかなり待たされる。料金を前払いとのことで、急遽会費の徴収となる。これで各自、浴衣を選び部屋へと向かう。今回の旅行参加者は、会長の知人で、紅一点の鈴木さんを含めて12名。ほぼ固定化されたメンバーだ。集合時間の16時を過ぎたので、とりあえず1室を幹事部屋として全員集合、まだ、2

人ほど未着だが、今後のスケジュールの確認をする。

バイキングの食事が2交代制の後半とのこと、まずは風呂に入ろうと言うことに。私は、部屋の留守番をして皆を送り出す。戻ってきたメンバーと交代して大浴場へ、温泉は(アルカリ性・含石膏弱塩泉)でよく温まり鎮静効果があるとのこと、湯加減も良く長湯をする。部屋へ戻ってしばらく歓談をしたところで、食事へと向かう。

バイキング会場は既に大賑わいで、席はと心配したが、中央部に人数分がリザーブされていてひと安心。各自、好みの料理と飲み物をそろえて、まずは乾杯だ。実は私は昨年、一昨年と仕事の関係で2日目の月曜日の休みが取れず、車でとんぼ返りのため、乾杯はお茶で我慢をしていたので、休暇が取れるようになった今回は皆と同じく生ビールを味わうことが出来た。



バイキングはいつものことながら、かきの足も食べ放題で、あれもこれもとトレイに乗せると、ついつい量が多くなり食べ過ぎてしまう。中西さんがスナップを撮ってくれている。お腹を満足させ部屋へ戻り、明日の予定などを相談しながら懇談をし、そろそろ行こうかとカラオケに向かう。小部屋が埋まっていて、大部屋へ入る。先着の7〜8人のグループ

が気持ち良く歌い継いでいる。部屋の端に陣取り持ち込んだ酒肴を取りながら待つこと小1時間。先のグループが、どうぞごゆっくりと退出。



ここからは港工の独占?次々とのど自慢が続く、私もなにを歌ったか良く覚えていないが3曲は歌ったと思う。23時の終了まで皆さん歳を感じさせない美声で実によく歌い続けた。部屋へ戻ってから有志で酒盛りが続くが、私は寝床に入る。

翌日朝食後玄関前で記念撮影をし、ホテルの奥にある万葉公園に8人ほどで向かう。万葉公園は起伏に富ん



だ自然を生かした公園で小ぶりながら滝もある。日本の歴史公園100選にも選ばれているという。園内の所々に万葉の歌碑や現代の詠み人の歌も掲示されている。また、温泉地の公園ならではの、足湯広場があったが、有料で靴を預けて専用スリッパでの入場となるため、利用とはならなかった。散策していくと岩場の蔭にかわいい花を見つけ、スマホで撮影する。佐藤さんに「ホトトギス」だと教えていただく。小1時間で公園を後にしてバスで湯河原駅に到着。喫茶店でお茶をして解散となった。

土産物を物色している内に皆は駅に入りはぐれてしまった。帰りは普通列車でゆつくりと居眠りをしながら帰ってきた。次回にはより多くの同窓生の参加で楽しい旅行にしたいものだ。

二十周年記念誌より

在職当時を顧みて

第二代校長 石引 一朗

私が港工業高校へ赴任を命ぜられたのは、昭和三十年十月でありましたから、創立後九年半のときでありました。私は教育界に身を投じてから、そのときまで三十五年になり、その間に学校を五回ほど変わりました。そのうち、四回はお招きをうけて変わったものばかりで、不安はありましたが、喜んで赴任したものでした。しかし港工業に来るようになったのは、いわゆる不意転というやつで、青天の霹靂（ヘキレキ）、私にとつては生まれて初めての経験でした。

私は二年前から高血圧療法の不注意で、栄養失調の状態となつて、それからやつと立ち直りかけていたときに、新しい学校に赴任して苦労をするなどということは、とてもできそうにはないと思ひ、心の中では深淵に飛び込むほどの思いでありました。ところが、港工業にきてみると、先生方からは非常に丁寧な取り扱いをうけ、PTA・後援会からも温くしていただきまして、思いもかけないしあわせな最後のご奉公の場となつたというわけです。在勤は三年半に過ぎず、業績というほどのものは何もなかったにかかわらず、六つの勤務校のうち、一番な

つかしい学校の一つとなりました。先生方や父兄、同窓会の方々に対し、くれぐれもお礼を申し上げます。

私は戦争中に東京都視学官として、工業学校に関する仕事を担当し、学務職員だとか罹災工業学校に関することとか、戦後の工業学校の統配合に関する事務を取り扱つたので、麻布工業が全焼の上、校長まで傷病死されたこと、渋谷商業が渋谷工業に転換させられて間もなく、設備も教員も整つていない折に爆撃されて全焼してしまふようなことが起つたので、これらの学校には他の工業学校と比較にならないほど、たびたび訪問して、これらのお役には立たなかつたが、どれほど困難と戦つているか苦労の聞き役になつていました。こういうことが原因で、当時の港工業の先生方とは、とても苦労した仲間として顔なじみの人が、非常に多かつたのであります。そのため私を旧知の人のように好意をもつて、受け入れてくれたのだらうと思ひます。このように港工業が誕生する前から深い因縁が結ばれていたわけです。

都立の工業学校も、三校か四校が焼け残つただけで、国にも都にも力がなかつた時でしたから、再建の計画などはどの工業高校でも、お先真っ暗で、その困難さはその衝に當つた人でなければ容易にわかつてはもらえないことでした。これについては早坂先生

の回顧で、ご推察願ひます。実際早坂先生は在任九年半で、決して短いとはいへませんが、大半の精力は港工業再建の基礎作りに献げられたといつてもよいでしょう。

私の赴任した当時は、再建計画の根本はできていたが、機械科の工場の第一期工事ができ上がっただけのときでした。校長室もまだいまの校長室になつていませんが、早坂先生のときは、長い間物置みたいな三階の今の衛生室で執務されたと聞いています。新校長が赴任するというので、事務長さんが、カーテンを窓につけてくれたことを覚えています。校舎も鉄筋であつたには相違ないが、体育室と一、二の教室には雨が漏り、二階の教室ではガラス窓の枠が朽ちて、風にはもちそうにもないので、鉄線できくりつけておくという所がありました。また屋上の防護金網が腐つていて、定時制の生徒が運動のほすみで、お尻をぶついたら金網が破れて、十メートル下の地上に墜落し、しかし、奇跡的に、微傷も負わず助かつたというような、全く胆を冷やす事件もありました。この男は運がよかつたばかりでなく、その年の学年末にはかえつて成績がよくなつたと、主事先生から聞いて後遺症のないのほつとしたことでした。

そのうちに機械科の第二期工事として、鉄骨の平屋の試験室や、鉄筋の三階もできたりして、設備もポツポツ

備わり、やつと工業高校らしくなつてきました。

その後、体育館の屋根が修理され、床板が取り換えられて、小さいながらも雨もりのない体育室兼講堂ができ、卒業生と後援会から舞台の緞帳、暗室用カーテンなどの寄贈があつて、晴雨にかかわらず体操も、拳式も、講話も映写もできるよつになつたときは、お祝い騒ぎこそしなかつたが、ホツとしたものでした。

港工業へ赴任した当時は、港工業の生徒は素質も成績も生活態度も、さらに父兄や後援会との関係もあわせて、東京都内第一だと学校内では、みんなが誇らしげに考へていたように思ひました。第三者からみれば、「いい気なもんだ。」といわれるかも知れませんが、自分の学校にそれだけの誇りをもつてゐることは貴いことだと思ひました。比較的若い先生方と壮年の先生方が、創立当初の担い手であつたから、効果もあがり、その自負・自信をみんなが持つてゐたことと思ひます。

私は神戸と名古屋で、それぞれ一校ずつ、東京で四校の経験をしましたが、どこでも同じような自負を持つてゐるよつでしたから、「ああここでもか。」という感じがしないでもなかつた。それにしても都内のファーストクラスの学校には違いありませんから、これほどに築き上げて来られたものを ↓次頁4段目に続く◇

閉校記念誌(平成16年)より

バレーボール部の思い出

旧教職員

高橋 光春

昭和33年に港工定時制から全日制に移り、教員生活の大半をバレーボール部の顧問として努めてきました。それまでの部は予選1、2回戦で敗退するチーム力でしたが、昭和34年の団体東京都予選で実力以上の力を発揮し準決勝まで勝ち進み堂々3位の栄冠を勝ち得ました。この快挙をうけ合宿をやろうという機運が盛り上がり翌年に長野善光寺の宿坊での夏合宿が始まったのです。

長野での合宿は10年近く続き、その間、地元の高校教員と親善試合をする仲になったり、NHK長野放送局から「合宿風景」というテーマで取材を受け、我がチームと長野高校応援団部の合宿練習がローカル版としてラジオ放送され、宿舎で全員で放送を聞き感激したものでした。普段の練習や合宿等で黙々とコーチをしてくれたOB諸君のご尽力を忘れることはできません。

硬式野球部創世期の思い出

卒業生(昭和33年卒)

西村 幸久

たしか、昭和31年に、今まで軟式野球(先輩達は立派な成績を残していた)だったのを硬式野球にし、今思うとよくこんな所(丸子橋の河原、日比谷高校のグラウンド)あるいは、こういう所(昔国会図書館、今芝迎賓館)で練習ができたらなあーと思いました。今だったら人工芝、ネットなど設備の点で工夫しての練習方法が考えられますが、半世紀前は土のグラウンドを求めていました。運動部はたいがい合宿します。当時も行った先が、群馬県の茂林寺(分福茶釜で有名な寺、泊まりも同じ)で我々の認識では巨人軍が猛練習した所と耳にしていました。今の世代では?と思う、夏合宿なので炎天下で、きついという印象しか残っていませんが、卒業してこれが、苦しいとき負けてたまるかという気持ちを持たせてくれました。

平凡な台詞

卒業生(昭和59年卒)

前田 知洋

「電算機室」と呼ばれた部屋は中途半端な階段の途中にありました。今は「コンピュータルーム」という名前に変わっているのかもしれない。そこでの授業は、ミシンとタイプライターの合わさったような機械にプログラムをタイプし、出て来た紙テープを電算機に読み込ませるという実習でした。読み込みを終わらせるたびに、長い紙テープをグルグルと巻き取るのが一苦勞でした。巻き取る作業に飽きて、速くグルグルすると、大切なプログラムのテープは簡単に切れました。そうになると、授業時間内で実習は終わらず、放課後に再び、紙テープをグルグルしました。

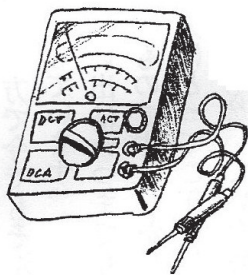
今のコンピュータの広告を見かけると、たまに高校時代の紙テープのグルグルを思い出し、「昔は手のかかる子供だったんだよ」という粋人の気分を懐かしい記憶と共に味わっています。

※前田知洋氏は世界的マジシャンとして同窓会懇親会に3回ご出演いただいています

◇前頁から続く ↓
さらに発展させなければならぬと、重大な負担を感じないわけにはゆきませんでした。

由来私は工業教育には、科学的知識も技能も基礎が第一であるとともに、人づくりは一層大切で、人づくりの支柱となる道徳的情操意志が相並行して進められなければならないものと信じていました。これについては私の実践と、先生生徒たちとの接触のほかに方法はなかったのですが、気魄も体力も衰えようとした晩年の勤めであったり、才幹の不足のため、多くの悔いを残して辞めることになってしまいました。

幸いにも、後任には歴代、有能な方々が続いて校長になり、今日飛躍的に発展する曙光を仰いで、二十周年を迎えるようになったことを、深く喜んでいる次第です。



事務局からお知らせ

◎会則改定による賛助金のお願い
平成30年度の総会案内及び会報は、住所判明者(4,300部)、秋の臨時号は恩師及び賛助金納入者(1,500部)に送付しました。賛助金は497名の方に送金戴き、前年比約4%若干の増加でした。本年の会報発送は、恩師及び賛助金納入者に絞り、財政の効率化を計ります。

同窓会の収入は会員の賛助金・寄付金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いします。

なお、秋の臨時号は恩師及び賛助金納入者のみに発送を予定します。

- ※郵便局のATM機を使えば、
- ①土曜・日曜・夜間も振込出来ます。
- ②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し、金額のみ押せばOKです。
- ※金額の変更訂正可能です。
- ③窓口より待ち時間が早いです。

☆銀行口座振込みを受け付けます
銀行 三菱UFJ銀行

支店 433 新橋支店 普通預金
口座番号 4753403

口座名義 港工同窓会会長前田武男
※必ず名前の前に会員Noを記入して下さい。

出来れば振込連絡をお願いします。

◎卒業生への諸証明発行について

都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒144-8506
大田区東六郷2-18-2
京浜急行「雑色」下車

国道沿い徒歩3分
TEL 03-3737-6565
ご不明の点につきましては、東京都教育庁高等学校課
TEL 03-5321-1111
へお問い合わせ下さい。

| ◎会員数の把握状況 | | R元年5月現在 | |
|-----------|--------|---------|-------------|
| 区分 | 在籍数 | 確認数 | (亡) |
| 正会員 | 高輪第一本科 | 771 | 39 (109) |
| | 高輪第二本科 | 768 | 18 (97) |
| | 麻布第一本科 | 485 | 75 (174) |
| | 港・定時制 | 3,867 | 540 (122) |
| | 港・全日制 | 9,774 | 3,326 (425) |
| | 計 | 15,665 | 3,998 (927) |
| 特別会員 | 旧校長 | 15 | 5 (10) |
| | 旧職員 | 626 | 231 (157) |
| | 計 | 641 | 236 (167) |

☆平成30年度の収支状況

| | |
|----------|-------------|
| 前期繰越額 | 1,513,642.- |
| 収入の部 | 1,386,085.- |
| 臨時会費 | 156,000.- |
| 賛助金 497名 | 994,000.- |
| 寄付その他 | 236,085.- |
| 支出の部 | 1,905,595.- |
| 総会費 38名 | 606,418.- |
| 通信費 | 789,901.- |
| 広報費 | 422,177.- |
| 文化祭費 | 2,518.- |
| 事務その他 | 84,581.- |
| 次期繰越額 | 984,132.- |

>同窓会の連絡先について<

住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局又はHPへお願いします。

記

〒278-0051 千葉県野田市七光台 158-5
港工同窓会 松岡信之(会計理事・港16期A)
TEL 080-1278-1584 FAX 04-7129-0916
E-mail: matsuoka@minatokou.net
・ホームページ: www.minatokou.net

◇編集後記◇

昨年は再興30周年記念として世界的マジシャンの前田知洋氏の妙技をご披露戴き、ますますのレベルの向上にただ驚くばかりでした。

住所判明者全員に会報を送りました。賛助金が久し振りに若干増加した一方、訃報が87名と多数でした。理事名簿を見ても再興以来10名を超えており、高齢化で止む無しというところですが、昨年からホームページを再開してくれた19期Eの加藤誠氏の加入で若干の若返りが図られ、今後の若手理事の参加を期待するところです。

ホームページは36,000を超えて閲覧されており増加中ですが、なかなか投稿が来ません。時期も記事のワクにも制限がありません。従って、クラス会の連絡などに使っていただければより早く通知できます。投稿はメールでOKです。又は、原稿を事務局宛に郵送でもかまいません。クラスメイトの動向等問合せにご活用ください。

秋の1泊旅行も昨年は後援会の女性の参加を得て、12名でした。種々検討しましたが、結局関東近場が参加し易くて良いとの方向で、伊東園グループのバイキングで食べ、飲み放題プランです。ご気軽にご参加ください。お待ちしております。

(松岡)